

日本育種学会 第109回講演会プログラム

2006年春季 東京農工大学

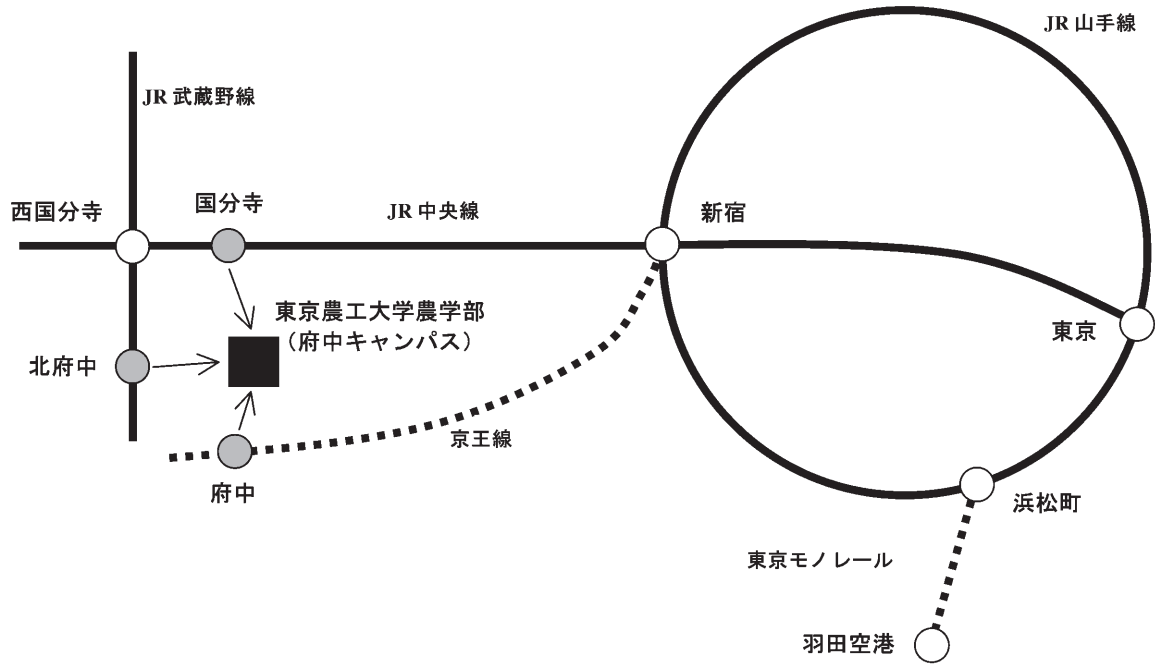
大会本部 (2号館+新2号館 123号 TEL: 042-367-5625 期間中のみ)

3月28日	午後	幹事会 14:00~18:00 (連合農学研究科棟 4階 第2会議室)
-------	----	-------------------------------------

		第1会場 第1講義棟 1講-25号	第2会場 第1講義棟 1講-24号	第3会場 第1講義棟 1講-16号	第4会場 第1講義棟 1講-15号	第5会場 第1講義棟 1講-14号	第6会場 2号館+新2号館 2-11	第7会場 2号館+新2号館 2-21
3月29日	午前	遺伝子・蛋白質	ゲノム解析	発育生理	変異創成	育種情報	変異創成	品種育成
		101-112 9:00-12:00	201-213 9:00-12:15	301-311 9:00-11:45	401-409 9:00-11:15	501-504 9:00-10:00	601-612 9:00-12:00	701-703 9:00-9:45
						増殖 505-506 10:00-10:30		遺伝資源 系統分化 704-712 9:45-12:00
午後	総会・受賞講演 14:00~17:30 (講堂)							
	懇親会 18:00~20:00 (福利厚生センター)							

3月30日	午前	遺伝子・蛋白質	ゲノム解析	発育生理	変異解析	抵抗性 品質成分	変異創成	遺伝資源 系統分化
		113-124 9:00-12:00	214-225 9:00-12:00	312-322 9:00-11:45	413-424 9:00-12:00	513-524 9:00-12:00	613-624 9:00-12:00	713-724 9:00-12:00
	午後	遺伝子・蛋白質	品種育成	発育生理	変異解析	抵抗性 品質成分	変異創成	遺伝資源 系統分化
125-137 13:00-16:15		226-237 13:00-16:00	323-338 13:00-17:00	425-437 13:00-16:15	525-537 13:00-16:15	625-639 13:00-16:45	725-740 13:00-17:00	
グループ研究集会 17:30~19:30								

会場への路線図



【JR中央線国分寺駅から】

南口2番乗車「府中駅行（明星学苑経由）」京王バスにて約12分「晴見町」下車すぐ

【京王線府中駅から】

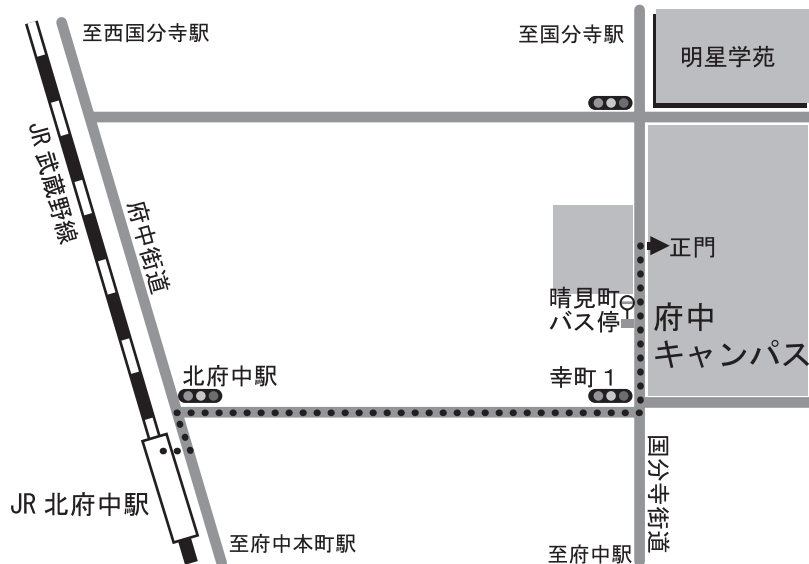
北口バスターミナル2番乗車「国分寺駅南口行（明星学苑経由）」京王バスにて約7分「晴見町」下車すぐ

【JR武蔵野線北府中駅から】

徒歩15分

* 学会参加者用の駐車場はありませんので、電車やバスをご利用ください。

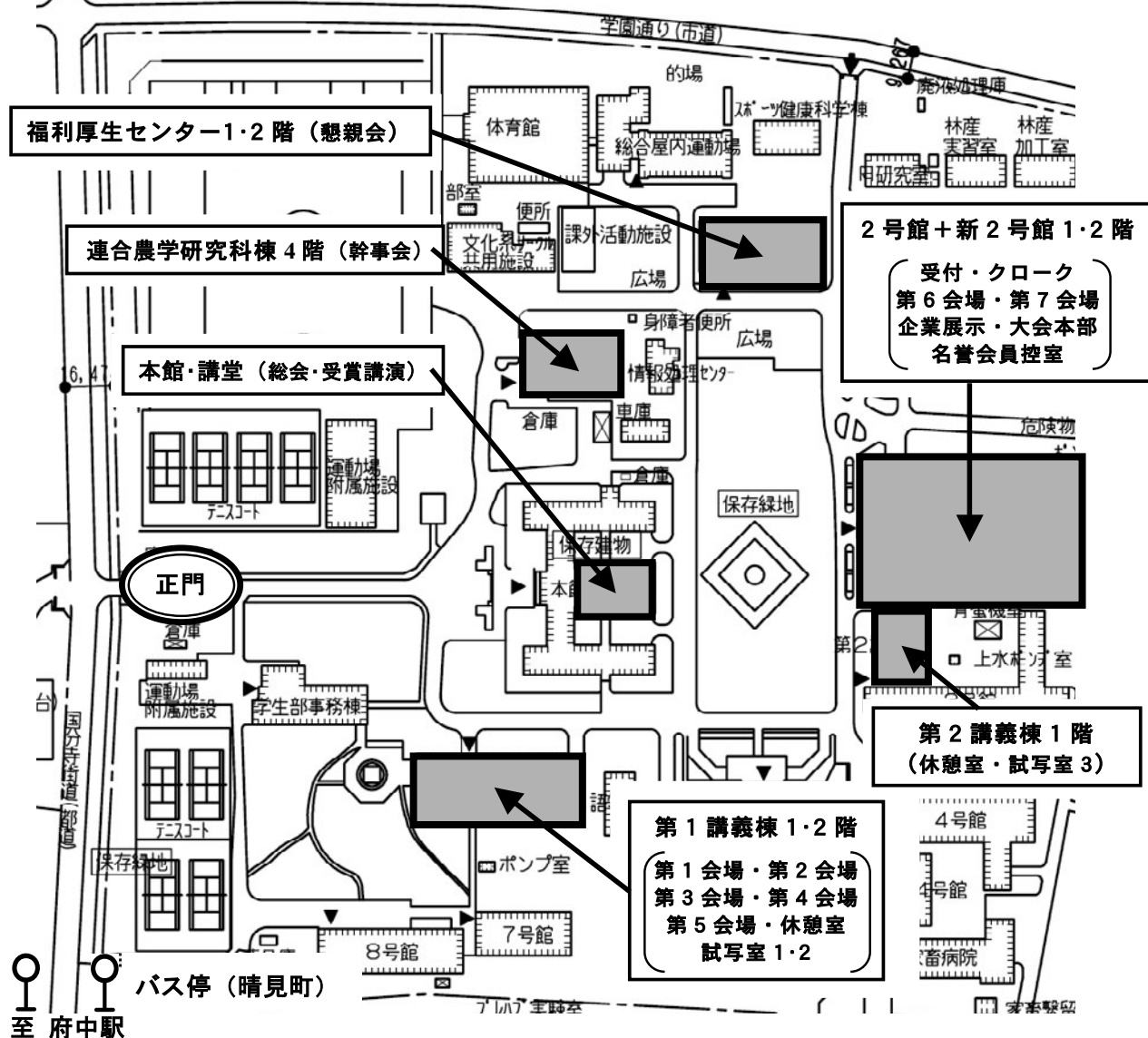
北府中駅から会場への順路



会場配置図

至 国分寺駅

バス停 (明星学苑前)



バス停 (晴見町)
至 府中駅

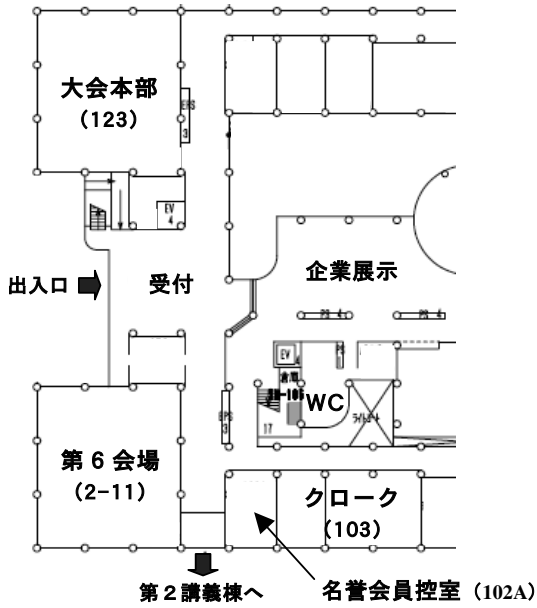
会場

幹事会 :	3月28日 (14:00~18:00)	連合農学研究科棟 4階 (第2会議室)
受付 :	3月29日, 30日	2号館+新2号館 1階
総会・受賞講演 :	3月29日 (14:00~17:30)	本館・講堂 1階 (講堂)
懇親会 :	3月29日 (18:00~20:00)	福利厚生センター 1・2階 (食堂・オリザ)
弁当販売* :	3月29日, 30日 (11:30~)	2号館+新2号館 1階 (受付)
クローク :	3月29日, 30日 (8:00~18:00)	2号館+新2号館 1階 (103号)
試写室1・2 :	3月29日, 30日 (8:00~17:00)	第1講義棟 1・2階 (1講-12号・1講-21号)
試写室3 :	3月29日, 30日 (8:00~17:00)	第2講義棟 1階 (2講-12号)

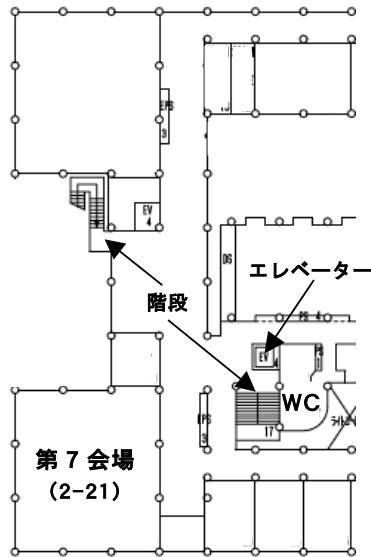
*当日は福利厚生センターの食堂も営業しておりますが、混雑が予想されるため、受付にて弁当を販売します。

会場見取り図（1）

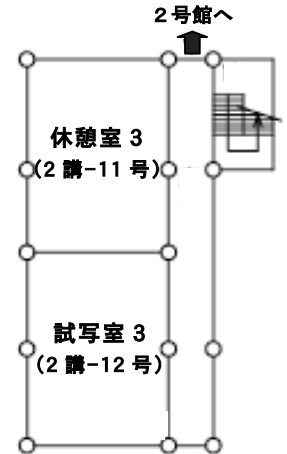
2号館+新2号館（1階）
 【受付、クローク、名誉会員控室
 企業展示、第6会場、大会本部】



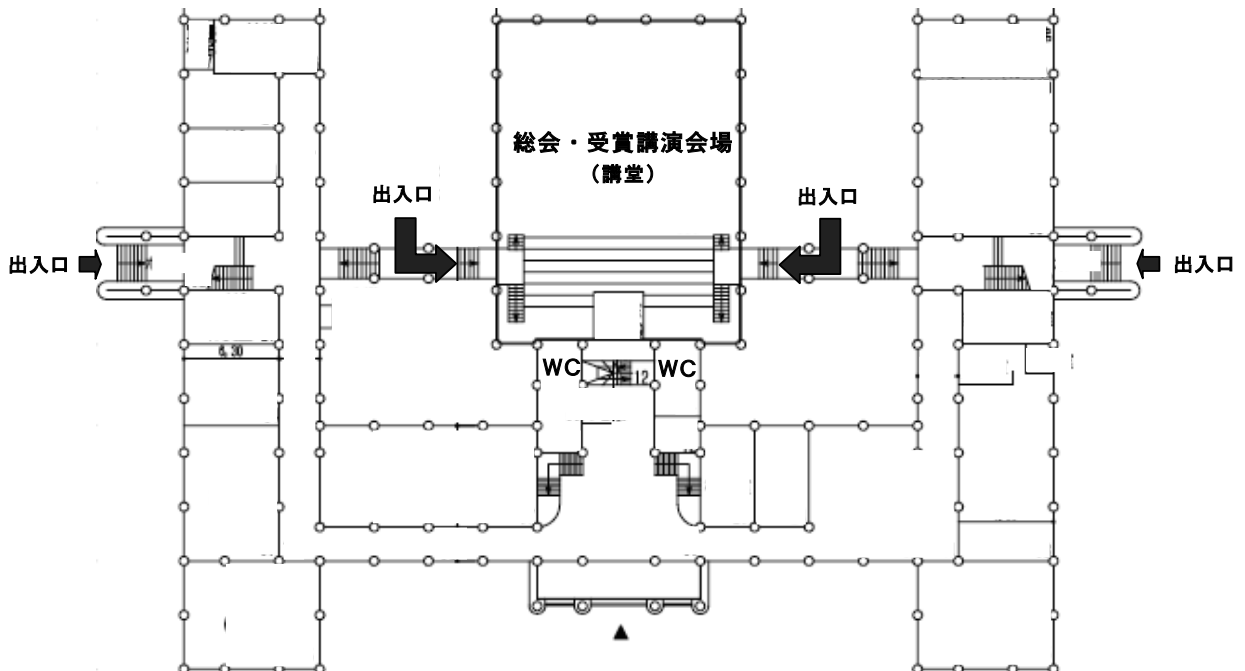
2号館+新2号館（2階）
 【第7会場】



第2講義棟（1階）
 【休憩室3、試写室3】



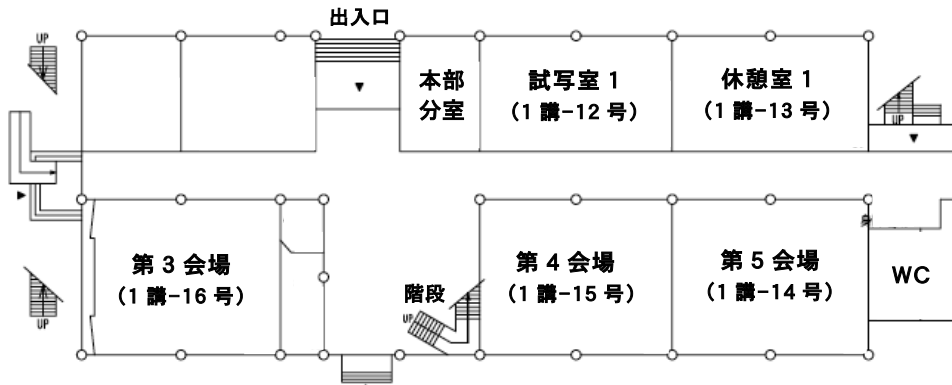
本館・講堂（1階）
 【総会・受賞講演会場】



会場見取り図（2）

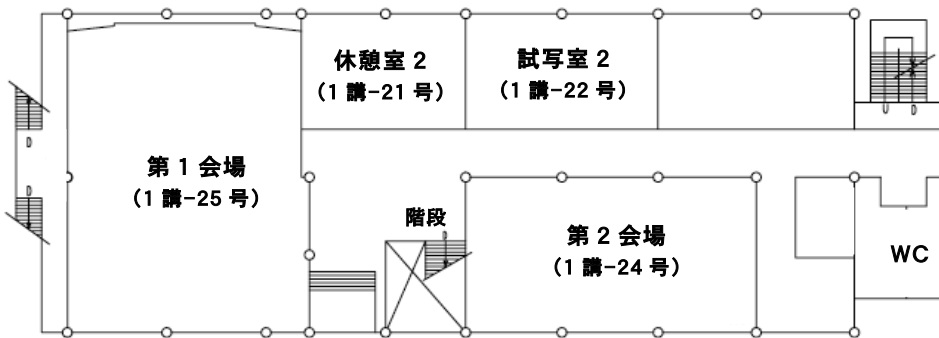
第1講義棟（1階）

【第3会場，第4会場，第5会場，休憩室1，試写室1，本部分室】



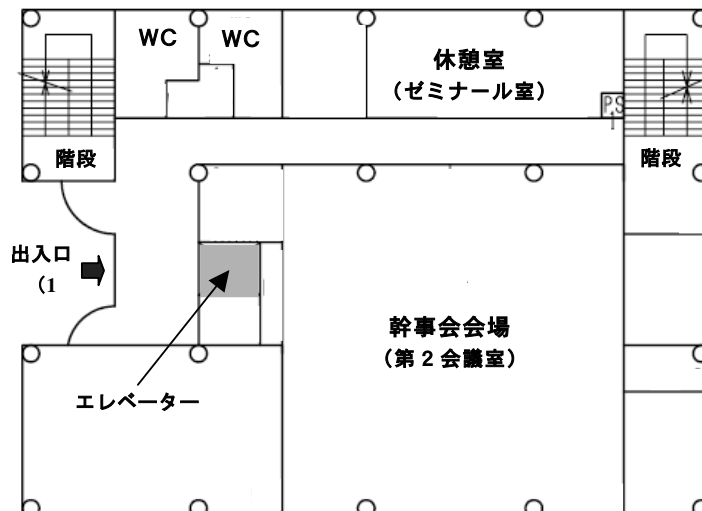
第1講義棟（2階）

【第1会場，第2会場，休憩室2，試写室2】



連合農学研究科棟（4階）

【幹事会会場，休憩室】



3月28日	
14:00 ↓ 18:00	幹事会 (連合農学研究科棟 4階 第2会議室)

1日目(3月29日)午前			
3月29日	第1会場(第1講義棟 1講-25号)	第2会場(第1講義棟 1講-24号)	第3会場(第1講義棟 1講-16号)
	◆座長 門脇光一(生物研)	◆座長 才宏信(飼料作物研)	◆座長 矢野昌裕(生物研)
9:00	101 ○陳志奇・平田豊・川合伸也(東京農工大学大学院農学教育部) 香り米特異的に発現しているcDNAのサブトラクション	201 ○トミタ・フーベンス・ノリオ1・諏訪部圭太2・吹野伸子1・國久美由紀1・松元哲1(1.野菜研、2.三重大生資) ハクサイ根こぶ病抵抗性遺伝子座(Crr2)領域の詳細化とシロイヌナズナとの同源性	301 ○嶋田早苗1、五十里千尋1、北川哲1、川東広幸2、半田裕一2、村井耕二1(1.福井県大生物資源、2.農業生物資源研) コムギFTオノンログ(WFT)はコムギの花成における日長反応性経路と春化経路のインテグレーターである 1.コムギにおけるWFTの発現解析
9:15	102 ○野田尚信、数馬恒平、佐々木健、古川耕一郎、鈴木正彦(青森農林総研グリーンバイオ) ポリアシル化アントシアニン生成においてアシル基転移酵素として機能するセリンカルボキシペプチダーゼ様タンパク質をコードする遺伝子の単離	202 ○稲葉規子1、田邊純代1、藤澤由紀子1、加藤久晴1、北野英己2、岩崎恒玄1 (1.福井県立大学生物資源、2.名古屋大学生物機能開発利用研究センター) イネ短粒変異体のプランノステロイド応答と変異原因遺伝子座の解析	302 ○川東広幸1、村井耕二2、半田裕一1(1.農業生物資源研、2.福井県大生物資源) コムギFTオノンログ(WFT)はコムギの花成における日長反応性経路と春化経路のインテグレーターである 2.イネ形質転換体を用いたWFT遺伝子の機能解析
9:30	103 ○千田峰生1・葛西厚史1・葛西宏介2(1.弘大遺伝子実験施設、2.弘大医) 黄ダイズの種皮着色抑制をつかさどる1遺伝子の構造的特徴	203 ○藤田淳史1・小池倫也1・萩原保成2、加藤清明3・三浦秀穂3・笹沼恒男4(1.北海道グリーンバイオ研究所、2.京都府立大学、3.帯広畜産大学、4.横浜市立大学木原生物学研究所) コムギ4A染色体に座乗する種子休眠性QTLの高精度マッピング	303 ○小見創介・武田一宏・穴戸理恵子・野村和成・池橋宏(日本大生物資源) 日印ハイブリッドイネの出穂遅延に関する補足遺伝子座の分析
9:45	104 ○葛西厚史1・赤田辰治1・石川隆二2・原田竹雄2・新開稔2・千田峰生1(1.弘大遺伝子実験施設、2.弘大農学生命) 遺伝子転写産物は黄ダイズ種皮においてCHS遺伝子の2本鎖RNAを形成するか?	204 ○小池倫也・藤田淳史(北海道グリーンバイオ研究所) パンコムギESTを利用したターゲット領域へのPCRマーカー作成	304 ○上床修弘・池田祐士・佐野芳雄(北大院農) グラベリマイネが保持するse-pat近傍領域における感光性遺伝子の解析
10:00	◆座長 高倉由光(JT植物イノベーションセンター)	205 ○宮武宏治1・布目司1・山口博隆1・河野いづみ2・福岡浩之1(1.野菜茶研、2.STAFF研究所) ESTデータを利用したオス系統間の塩基多型(SNPs)検索とマーカー開発	◆座長 穴戸理恵子(日大生物資源)
	105 芦苜基行1、高師知紀2、林小陽2、北野英己1、○松岡信1(1.名大・生物機能開発、2.HRI) イネの着粒数を制御するQTL遺伝子の単離と利用		305 ○野々上慈徳1・山内歌子2・藤野賢治3・矢野昌裕2(1.農林水産先端研、2.生物研、3.北海道グリーンバイオ研) イネ感光性遺伝子Hd1、Hd5およびHd4間に見出された出穂期調節における相互作用
10:15	◆座長 福岡浩之(野菜茶研)	206 ○森 正彦1、吉村 徹2、品田 博史2、佐藤 毅2、加藤 清明1、三浦 秀穂1 (1.帯広畜産大学、2.北海道立上川農業試験場) イネ穂ばらみ期耐冷性極強系統の耐冷性関連QTLsの解析	306 野々上慈徳1・藤野賢治2・山内歌子3・山本伸一3 ○矢野昌裕3(1.農林水産先端研、2.北海道グリーンバイオ研、3.生物研) 北海道に適應するイネ品種における感光性遺伝子Hd1の意義
10:30	107 ○西岡美樹1・林正紀1・大川安信2・釘貫靖久3・原田久也1 (1.千葉大園芸、2.農水省技術会議、3.アサヒ農園(株)) Brassica rapaにおける抽だい性遺伝子座の解析	207 ○竹内善信1、野々上慈徳2、姥谷武志3、鈴木啓太郎4、梅本貴之1、青木法明1、佐藤宏之1、出田 収1、平林秀介1、平山正賢1、太田久稔1、根本 博1、加藤 浩1、安東都男1、大坪研一4、矢野昌裕5、井辺時雄1(1.作物研、2.STAFF研、3.富山県農技セ、4.食総研、5.生物研) コシヒカリの食味に関与するQTLのマッピング	307 ○松原一樹1・山内歌子1・王子軒2・美濃部佑三2・矢野昌裕1(1.農業生物資源研究所、2.植物ゲノムセンター) イネの開花促進遺伝子Ehd2およびEhd3の連鎖解析
10:45	108 ○生井潔1・柏谷祐樹1・飯村一成1・柴田大輔2・天谷正行1(1.栃木農試、2.かずさDNA研) イチゴの果実成熟に伴う遺伝子発現プロファイリング	208 ○施芳1,2、許東河1、半田裕一2、坂智広1(1.国際農林水産業研究センター、2.農業生物資源研) 赤かび毒素処理により誘導されたコムギEST情報に基づく低毒素蓄積性及び赤かび病抵抗性QTLと関連するDNAマーカーの開発	308 ○山本伸一1、野々上慈徳2、宇賀優作1、高橋裕治2、小島晶子2、山内歌子1、矢野昌裕1 (1.農業生物資源研究所、2.農林水産先端技術研究所) イネFT様遺伝子RFT1の長日条件下における開花促進機能について
11:00	◆座長 山田哲也(北大院農学)	209 ○磯部祥子1、N. Razgoulaev2、田畑哲之3、奥村健治1、廣井清貞1、N. Kozlov、I. Klimentko2(1.北海道農研センター、2.全ロシアウイリアムス飼料作物研究所、3.かずさDNA研究所) アカクローバ高密度連鎖地図による日口における越冬性のQTLマッピング	◆座長 野々上慈徳(農林水産先端研)
	109 ○三木大介・中島綾子・島本 功(奈良先端大バイオ) イネにおける誘導型RNAiの有用性		309 ○王 愛徳1・浦野宗行1・齋藤 寛1・千田峰生2・石川隆二1・赤田辰治2・新開 稔1・原田竹雄1(1.弘前大農学生命、2.弘前大遺伝子実験施設) リンゴ'ふじ'と芽条変異体'ひろさきふじ'の完熟果実におけるcDNAサブトラクション解析

1日目(3月29日)午前

第4会場(第1講義棟 1講-15号)	第5会場(第1講義棟 1講-14号)	第6会場(2号館+新2号館 2-11)	第7会場(2号館+新2号館 2-21)
<p>◆座長 貴島祐治(北大院農)</p> <p>401 ○金子博1・松田靖1・Anurug Poeaim1・阿部知子2・村田達郎1(1.九州東海大農, 2.理研加速器) <i>Zoysia minima</i>におけるイオンビーム照射の影響</p> <p>402 ○山田栄成・植田陽子(静岡農試) X線の照射方法がスプレーギクの生育および花色変異率に及ぼす影響</p> <p>403 ○根角厚司・松永明子・佐波哲次(野菜茶研) 切り戻し法によるチャの低カフェイン突然変異系統の選抜</p> <p>404 ○西尾剛1・佐藤豊1・白澤健太1・高橋由信1・森田竜平2・西村実2(1.東北大院農学, 2.放育場) サイレント突然変異を利用した米の産地同定技術の開発</p>	<p>◆座長 大澤良(筑波大生命環境)</p> <p>501 ○岩田洋佳1・法隆大輔1・森裕之2・並木信和2・宇賀優作3・福岡修一3・江花薫子3(1.中央農研, 2. STAFF研, 3. 生物研) イネSNP/indel情報の蓄積とDNA多型・形質関連解析システムの開発</p> <p>502 ○二宮正士・山川敦之・岩田洋佳・法隆大輔(中央農研) データグリッドによる育種・栽培試験データと気象データのリアルタイム仮想統合</p> <p>503 ○矢野健太郎1・津金胤昭2・渡邊学2・前田ふみ2・青木考1・柴田大輔1(1.かずさDNA研, 2.千葉農総研) シロイヌナズナ遺伝子と相同性のないトマト遺伝子の果実における発現プロファイル</p> <p>504 岡 正明(宮城教育大学) 理想原型を検討するためのイネ受光シミュレータの開発</p>	<p>◆座長 久保山勉(茨城大農)</p> <p>601 本田真理1・石川駿二1・平田豊2・宮下千枝子3・三位正洋4(1.農工大, 2.農工大・院・国際・植物遺伝育種, 3.東京農総研, 4.千葉大園芸) <i>in vitro</i>寄せ接ぎ法によるブルーベリー種間キメラの作成</p> <p>602 ○宮沢裕章・片野匠・鈴木克彰・平田豊(農工大・院・国際環境農学・植物遺伝育種) 2種のトウガラシ <i>Capsicum annuum</i> と <i>C. baccatum</i> との種間接木により得られた接木変異の解析</p> <p>603 ○鈴木 克彰1・片野 匠1・宮沢裕章1・網代卓祐1・李 章洙2・平田 豊1(1.農工大・院・国際環境農学・植物遺伝育種, 2. Tong Wong Non Seed Co.) トウガラシ接木変異系統における葉形変異の数学的解析</p> <p>604 ○山川一富, 水室泰代, 霍田真一, 明石良(宮崎大農) パビアグラスにおけるGFP遺伝子の導入とその発現</p>	<p>◆座長 柏原正和 (JT植物イノベーション)</p> <p>701 ○大川泰一郎1・加藤 浩2・坂井 真3・石原 邦1・平沢 正1(1.東京農工大院農学, 2.農研機構作物研, 3.九州沖縄農研) 倒伏抵抗性極強の飼料用水稲長稈新品種「リーフスター」の育成経過とその特性</p> <p>702 ○梶亮太1・岡本正弘1・八木忠之2・平林秀介3・溝淵律子4・深浦壮一5・田村克徳1・西村実4・山下浩1・富松高治6(1.九州農研, 2.元 中央農研, 3.作物研, 4.生物研, 5.熊本農研, 6.協友アグリ) 良食味の直播向き水稻新品種「ふくいずみ」の育成</p> <p>703 ○富田因則(鳥取大農分子遺伝) 短稈コシヒカリ型的水稲新品種『ヒカリ新世紀』の開発</p>
<p>◆座長 平野博之(東大院農学生命)</p> <p>405 ○齊藤大樹1・奥本裕1・濱田晋介1・袁清波1・西田英隆2・葉山拓司1・中崎鉄也1・谷坂隆俊1(1.京大院農, 2.岡山農大) イネ出穂期突然変異系統HS169の晩生化は基本栄養生長性遺伝子E1へのmPing挿入による</p> <p>406 ○内藤健1・Eunyoung Cho2・Guojun Yang2・Matthew Campbell2・奥本裕1・Susan R. Wessler2・谷坂隆俊1(1.京大院農学, 2. University of Georgia, Plant Sciences Department) イネ品種銀坊主におけるトランスポゾンmPingの爆発的増殖</p> <p>407 ○奥崎文子1・角康一郎2・清水力2・鳥山欽哉1(1.東北大学院農学, 2.クミアイ化学) ピリミジニカルボキシ系除草剤に耐性を示すイネアセト乳酸合成酵素遺伝子の新規変異</p> <p>408 ○貴島祐治1・野呂祐司1・高野敏行2・庄野邦彦3・佐野芳雄1(1.北大院農, 2.遺伝研, 3.日本女子大理) イネ細胞培養の遺伝変異: 系統分化との比較</p> <p>409 ○井上一1・加藤智美2・國武久登2・藪谷勤2(1.鹿児島連大, 2.宮崎大農) 電気融合によるハナショウブとチャショウブの種間体細胞雑種の作出</p>	<p>◆座長 三位正洋(千葉大園芸)</p> <p>505 ○田中篤1・小沼明弘2・堀崎敦史3・新倉聡3・大澤良1(1.筑波大生命環境, 2.農環研, 3.(株)トーホク) 開花同調性及び自家不和合性程度がアブラナ科野菜のF1採種性に与える影響</p> <p>506 ○和久井健司・伊藤由美乃・中西麻美・藤垣順三(東農大短大) ナタネ (<i>Brassica napus</i> L.) 花粉由来胚および未熟種子胚からの2次および3次不定胚形成</p>	<p>◆座長 房相佑(宇都宮大農)</p> <p>605 ○手塚孝弘1・久保山勉1・松田智明1・丸橋亘2(1.茨城大農, 2.明治大農) <i>Nicotiana tabacum</i> のQ染色体はタバコ属種間雑種 (<i>N. tabacum</i> × <i>N. debneyi</i>) に認められる雑種致死に伴うプログラム細胞死を引き起こす</p> <p>606 ○池田奈実子・武田善行(野菜茶業研究所) チャツバキの配偶子形成について</p> <p>607 ○齋藤利弥1・青木美里1・松本雄一1・一谷勝之2・久保山勉1(1.茨城大農, 2.鹿児島大農) 日本型イネとペルー品種「ジャマイカ」のF2において見られた弱勢原因遺伝子の量的効果</p> <p>608 ○西村秀希・前川雅彦(岡大・資生研) イネコアレクシオン系統とT-65 <i>pyl-stb</i> との交雑F1の諸特性</p>	<p>◆座長 大川泰一郎(東京農工大院農)</p> <p>704 ○Hoai, T.・西 愛子・佐藤 光・熊丸敏博(九大農) Diversity of starch properties in Vietnam local rice cultivars.</p> <p>705 ○小川紹文1・宮内花菜1・井手一夫1・遠藤昇2・宮地智宏1・升水知佳1(1.宮崎大農学部, 2.国際環境研究協会) イネ白葉枯病抵抗性品種群雲南由来イネ品種における形質変異</p> <p>706 講演取り消し</p> <p>707 ○福田善通1・M.J.T. Yanoria2・大沢良3・小林伸哉1,2(1.国際農林水産業研究センター, 2.国際稲研究所, 3.筑波大学) イネのもち病抵抗性に関する多様性</p> <p>708 ○江花薫子1・田口文緒1・岩田洋佳2・河瀬真琴1(1.生物研, 2.中央農研) イネの穂形質に関する関連解析</p>
	<p>◆座長 野村和成(日大生物資源)</p> <p>507 ○水野信之・杉江淳・宅見薫雄(神戸大農) 低温条件下におけるバンコムギの呼吸活性とAOX遺伝子の発現解析</p> <p>508 ○船附秀行1・川口健太郎1,2・松葉修一1・佐藤裕1・石本政男1(1.北農研, 2.現農水省) ダイズ耐冷性に関するQTLの同定とその相互作用</p> <p>509 ○下坂悦生・小沢憲二郎(北海道農研) コムギガラクトノール合成酵素遺伝子を導入したイネのラフィノース蓄積と低温耐性</p>	<p>◆座長 池田奈実子(野菜茶研)</p> <p>609 ○林麻衣1・加藤淳太郎2・松原典子2・中村郁郎1・三位正洋3(1.千葉大自然科学, 2.愛教大生物, 3.千葉大園芸) 4倍体 <i>Primula denticulata</i> (<i>Denticulata</i> 節) と2倍体 <i>P. modesta</i> 及び変種 (<i>Aleuritia</i> 節) との節間交配雑種に見いだされた倍数性変異</p>	<p>◆座長 富田因則(鳥取大農)</p> <p>709 ○黒田洋輔・加賀秋人・友岡憲彦・D. Vaughan(生物研) 野生ダイズ(<i>G. soja</i>)の花弁・種子の拡散と空間遺伝構造</p>

1日目(3月29日)午前			
3月29日	第1会場(第1講義棟 1講-25号)	第2会場(第1講義棟 1講-24号)	第3会場(第1講義棟 1講-16号)
11:15	110 ○高倉由光1, 宇佐美悟1, 樋江井祐弘1, 石田祐二1, 小森俊之1, 峯利喜1, 柏原正和1, 岡一郎1, 竹森尚樹1, 植木潤1, 久保友明2, 加藤紀夫1, 小鞠敏彦1, (1.J T植物イノベーションセンター, 2.作物研) 植物ゲノム断片 in vivo大量選抜システム、TraitExplorerTMの開発	◆座長 王子軒(植物ゲノムセンター) 210 ○田中裕子1・中塚貴司1・西原昌宏1・阿部善子1・川村浩美2・児玉勝雄2・山村三郎1(1.岩手生物工学研究センター, 2.岩手県農業研究センター) リンドウにおけるピンク花識別マーカーの開発	310 ○井上祐一・司馬 肇・穴戸理恵子・野村和成・池橋 宏(日本大生物資源) イネ葉の枯れ上がりにもなるプロテア-ゼ、ヌクレア-ゼ活性の変化
11:30	111 ○宇佐美悟1, 高倉由光1, 樋江井祐弘1, 石田祐二1, 小森俊之1, 峯利喜1, 柏原正和1, 岡一郎1, 竹森尚樹1, 植木潤1, 久保友明2, 加藤紀夫1, 小鞠敏彦1 (1.J T植物イノベーションセンター, 2.作物研) TraitExplorerTMシステムによる大ゲノム断片導入イネの解析	211 ○上野真義1・田口由利子1・津村義彦1(1.森林総研) ブナ科3樹種のSNPマーカー開発のためのEST解析	311 ○大西一光・市川直史・丸岡正道・堀内優貴・佐野芳雄(北大院農) 一年生野生イネの攪乱耐性を支配するQTL
11:45	112 ○杉本良平・小山いずみ・平田豊(農工大・国際・植物遺伝育種) 形質転換タバコにおける導入遺伝子発現の不安定性	212 ○谷口郁也・田中淳一・氏原ともみ・福岡浩之(野菜茶研) チャの根由来EST解析と配列情報を利用したDNAマーカー開発	
12:00		213 ○田崎公久・飯村一成・天谷正行(栃木農試) イチゴSSR濃縮ライブラリーの構築	

1日目(3月29日)午後	
14:00	<p style="text-align: center;">総会・受賞講演(講堂)</p> <p>学会賞 ★山岸 博(京都産業大学工学部) ダイコン属植物の系統分化に関する遺伝・育種学的研究 ★農業・生物系特定産業研究機構 野菜茶業研究所育種グループ(代表者: 武田善行) 緑茶用の早生品種「さえみどり」および晩生品種「おくみどり」の育成</p> <p>奨励賞 ★高崎剛志(神戸大学農学部) 遺伝子導入によるアブラナ科自家不和合性の制御に関する研究 ★久保友彦(北海道大学大学院農学研究科) テンサイにおけるミトコンドリアDNAの全遺伝情報解読と雄性不稔の機構解析</p>
18:00	懇親会(福利厚生センター)

1日目(3月29日)午前

第4会場(第1講義棟 1講-15号)	第5会場(第1講義棟 1講-14号)	第6会場(2号館+新2号館 2-11)	第7会場(2号館+新2号館 2-21)
<p>◆座長 西尾剛(東北大院農学)</p> <p>410 ○高木恭子1,3・前川雅彦2・梅根一夫3・飯田滋3(1.北大院農, 2.岡山大資生研, 3.基生研) イネの活性なDNA転移因子nDartのトランスポゾンディスプレイ</p> <p>411 袁清波1・齊藤大樹1・○奥本裕1・土井一行2・吉村淳2・築山拓司1・中崎鉄也1・谷坂隆俊1(1.京大院農, 2.九大院農) イネの早生遺伝子Efl1とEhd1の対立性検定</p> <p>412 ○雑賀啓明1・鈴木一正1・松村英生2・西澤直子1,3・高野哲夫4・吉田薫1・堤伸浩1・中國幹生1(1.東大農学生命科学, 2.若手生工研, 3.CREST, 4.東大アジアセンター) 冠水条件下において子葉鞘が伸長しないイネ reduced adh activity(rad)変異体の解析</p>	<p>◆座長 船附秀行(北農研)</p> <p>510 ○岡田吉弘1・木村貴志1・加藤常夫2・斎藤 彰1(1.九州沖縄農研, 2.栃木農試栃木分場) RT-PCR/RFLP法による日本における大麦萎縮病ウイルス(BaYMV)の系統分類</p> <p>511 ○猿田正恭・菊池彰夫・岡部昭典(近中四農研) ダイズモザイクウイルス-A2系統抵抗性の遺伝解析</p> <p>512 ○武田和宣1・久納健司1・土井一行1・吉村 淳1・松本 隆2・安井 秀1(1.九大院農, 2.生物研) イネのツマグロヨコバイ抵抗性遺伝子Grh2の単離</p>	<p>610 ○加藤淳太郎1・間瀬あいこ1・菊池美香1・池田真由子2・星野洋一郎3・林麻衣4・中村郁郎4・三位正洋4(1.愛知教育大学生物, 2.名大院生命農学, 3.北大北方生物園七, 4.千葉大院自然科学) 胚珠培養による異型花柱性Primula jesoana(オオサクラソウ)と単型花柱性Cortusa matthioli(サクラソウモドキ)の属間雑種の作出</p> <p>611 ○鄭 凡喜1・房 相佑1・新倉聡2・金子幸雄1・松澤康男1(1.宇都宮大農, 2.(株)トーホク) Moricaandia arvensis と Brassica rapa および B. oleracea との雑種から得た後代植物</p> <p>612 ○赤羽美智子・金子幸雄・中田好美・房相佑・松澤康男(宇都宮大農) Raphanobrassica2系統とナタネとの交雑およびその後代植物の育成</p>	<p>710 ○北本尚子1, 伊勢村武久2, 加賀秋人2, 黒田洋輔2, 大澤良1(1.筑波大学生命環境, 2.生物研) 適応関連QTLマップ情報に基づく組換え遺伝子の拡散リスク評価</p> <p>711 ○本城正憲1・岩田洋佳2・半田高3・津村義彦4・鷲谷いづみ1・大澤良3(1.東大農学生命, 2.中央農研, 3.筑波大生命環境, 4.森林総研) アサインメントテストによる他殖性植物における品種判別の試みI: ソバとサクラソウの場合</p> <p>712 ○大迫敬義1・大西近江2(1.京府大院農, 2.京大院農) ハマダイコン野生集団における開花制御遺伝子FLC3の塩基配列変異</p>

2日目(3月30日)午前

3月30日	第1会場(第1講義棟 1講-25号)	第2会場(第1講義棟 1講-24号)	第3会場(第1講義棟 1講-16号)
9:00	◆座長 一色正之(奈良先端大バイオ) 113 ○漆川直希1、田平千香子1、西井健一郎1、持田恵一2、川浦香奈子3、荻原保成3、村井耕二1(1.福井県大生物資源、2.理化学研究所、3.京都府大) コムギSEPALLATA-like遺伝子の解析	◆座長 穴井豊昭(佐賀大農) 214 ○才 宏偉・湯山奈々・井上真以子(飼料作物研) 二倍体チモシーにおけるSSR連鎖地図の作成	◆座長 前川雅彦(岡山大資生研) 312 ○小原主1・佐藤かな1・中野仁美1・北野英巳2・片山義博1(1.農工大院BASE,2.名古屋大・生物機能開発利用研究センター) 新規イネ矮性変異体の細胞壁フェノール性成分蓄積異常
9:15	114 ○西田英隆・大村泰之・堀口明日香・明石由香利・吉野照道・加藤謙司(岡山大農) 2倍体野生コムギにおける春播性遺伝子Vrn-A1の構造変異	215 ○渡部信義1・柴田祐司2・武直真人2・坂智広3(1.茨城大農、2.岐阜大応、3.JIRCAS) タルホコムギの小穂脱落性および葉のワックス着生に関する遺伝子のマッピング	313 ○及川愛,山崎誠和,木藤新一郎(岩手大農・寒冷バイオ) 発芽種子におけるオオムギ特異的タンパク質(P23k)の細胞内局在
9:30	115 ○上田実1.2・堤伸浩2・門脇光一1(1.農業生物資源研究所、2.東大院農学生命科学) イネ核ゲノムにコードされるミトコンドリアリボソームタンパク質遺伝子の網羅的解析とその特徴	216 ○田浦 悟1・瀬崎義孝2・川原大輔2・杉田佑紀2・川野生穂2・河邊弘太郎1(1.鹿大フロンティア研セ、2.鹿大農) イネ白葉枯病抵抗性突然変異系統の抵抗性遺伝子のマッピング II	314 ○横山実果1・荒木良一1・小川太郎1.2・大村典子1・長谷川博1(1.滋賀県立大環境科学,2.東大分生研) イネの低硝酸還元酵素活性突然変異体の硝酸代謝.
9:45	116 ○朱ヨウ、血池辰徳、山本優子、村井耕二(福井県大生物資源) Pistiloidy(雄ずいの雌ずい化)を誘発する細胞質置換コムギ系統で特異的に発現するミトコンドリアorf256-like遺伝子の同定	217 ○吉田哲也・西田英隆・明石由香利・吉野照道・加藤謙司(岡山大農) コムギにおける春播性遺伝子Vrn-D5のSSRマッピング	315 ○内山貴子・齊藤由美子・佐野芳雄・貴島祐治(北大院農) 遺伝的安定化をもたらすキンギョソウトランスポゾンTam3の転移抑制遺伝子の解析
10:00	高畑義人(岩手大農) 117 ○堀川明彦・寺地徹(京産大工) バンコムギmtDNAの全塩基配列情報に基づく <i>Aegilops mutica</i> ミトコンドリアゲノムの構造解析	渡部信義(茨城大農) 218 ○米丸淳一1・齊藤美香1・中村俊樹1(1.東北農研) イネゲノムに存在するHikkoshi-Toya様MITESの網羅的探索とIn/Delマーカーへの応用	◆座長 長谷川博(滋賀県立大環境科学) 316 ○川勝泰二1・伊藤純一1・三好一丸1・倉田のり2・長戸康郎1(1.東大院農学生命科学、2.国立遺伝学研究所) イネの葉間期と葉の発生成熟速度を変更する <i>plastochron2</i> 変異体の解析
10:15	118 ○吉見麻衣子、田口孝、吉田佳言、瀬野未也子、安本景太、山岸博、寺地徹(京産大工) オグラ型雄性不稔に対するハツカダイコンの稔性回復遺伝子座のゲノム構造と変異	219 ○榎宏征1,三木一嘉2,濃沼圭一1(1.北農研、2.長野県中農農試) SSRマーカーによるトウモロコシ自殖系統のプロファイリング	317 ○阿部匡・伊藤純一・長戸康郎(東大農学生命科学) イネのシュート形態に多面的な異常を示す <i>wavy leaf1</i> 変異体の解析
10:30	119 ○梁 修静・寺地 徹・山岸 博(京都産大工) ダイコンのオグラ型細胞質雄性不稔にはフラボノイド合成系遺伝子の発現が関与する	220 ○福島有紀恵1・林 正紀1・Tallat Ahmed 1.2・渡辺啓史1.3・穴井豊昭4・梅澤泰史5・篠崎一雄5・原田久也1(1.千葉大園芸、2.Assiut大農、3.国際農研、4.佐賀大農、5.理研植物科学セ) CAS-SSCP法によるダイズ完全長cDNAのマッピング	318 ○カ石和英・前川雅彦(岡山大学資生研) コムギの種子休眠性が低下した突然変異系統におけるABA感受性の解析
10:45	120 ○奥西麗1・服部玄2・平田豊1(1.農工大・院・国際環境農学・植物遺伝育種、2.農工大・院・連大・植物遺伝育種) アブラナ属細胞質雄性不稔系統におけるホメオティック遺伝子の解析	221 ○田淵宏朗・林敬子・大森伸之介・吉田均(中央農研) イネ品種純度検定へのPCR-based SNP判別マーカーの応用	319 ○佐々木和浩1,高橋秀行2,内宮博文2,佐藤雅志1(1.東北大院生命,2.東大分生研) 加齢処理によるイネ種子の劣化に伴う代謝物の変化
11:00	◆座長 山岸博(京都産大工) 121 ○津和本亮・高畑義人(岩手大農) シロイヌナズナ成熟種子特異的WRKY-type転写因子SMWの単離及び機能解析	◆座長 田浦悟(鹿児島大遺伝子実験) 222 ○高梨秀樹・有村慎一・堤伸浩(東大農学生命科学) イネにおけるミトコンドリア一個あたりに含まれるDNA量の組織間差異	◆座長 佐藤雅志(東北大院生命) 320 ○工藤久幸1・千田峰生2・石川隆二1・赤田辰治2・新関 稔1・原田竹雄1(1.弘前大農学生命,2.弘前大遺伝子実験施設) Meトマトを台木にしたジャガイモ穂木葉の形質転換

2日目(3月30日)午前

第4会場(第1講義棟 1講-15号)	第5会場(第1講義棟 1講-14号)	第6会場(2号館+新2号館 2-11)	第7会場(2号館+新2号館 2-21)
<p>◆座長 平井正志(京都府大院農)</p> <p>413 ○服部玄1・奥西麗2・平田豊2(1.農工大・院・連大・植物遺伝育種 2.農工大・院・国際環境農学・植物遺伝育種) プラシカ科におけるキメラ由来CMS系統でのオグラ型CMS特異的葉緑体ゲノム構造の検出</p> <p>414 ○高牟禮逸朗・杉田麻衣子・佐野芳雄(北大農院) イネ小穂の形態形成に関わる突然変異遺伝子の相互作用 -内籾発育不全-2(dp2)と3種の1小穂2小花型[lhs, eg1, dbl(t)]-</p> <p>415 ○Maria S. Dwiyanti・氏家綾・山田哲也・喜多村啓介(北大農学) イネ種子中の高α-トコフェロール含量の遺伝分析</p> <p>416 ○泉輝昭・西岡美樹・原田久也(千葉大園芸) ツルマメを用いたダイズ種子貯蔵タンパク質含量のQTL解析</p>	<p>◆座長 中村郁郎(千葉大自然科学)</p> <p>513 ○木原 誠1・岡田吉弘1,4・加藤常夫2・河田尚之3,4・金子隆史1・斉藤 涉1・伊藤一敏1(1.サツポロビールバイオリソース研、2.栃木農試栃木分場、3.農研機構作物研、4.現:九州沖縄農研) オオムギプロテアーゼに関する育種の研究7.ミカモゴールドとHarringtonのDH集団における麦芽及び麦汁中遊離アミノ酸含有量のQTL解析</p> <p>514 ○石川吾郎1・中村俊樹1・高田吉文1・高橋浩司2(1.東北農研、2.作物研) ダイズ品種「ゆめみのり」におけるβ-コングリシニンα-サブユニット欠失性の同定</p> <p>515 ○Nguyen Loc HIEN1, 吉橋忠2, W.A. Sarhadi1, 平田豊1(1.農工大連大,2.JIRCAS 食品科学技術研究部門) イネ香り物質2-アセチル-1-ピロリンの定量分析</p> <p>516 青島正和・阿部利徳(山形大農) エダマメの糖組成の簡易分析法による評価</p>	<p>◆座長 田部井豊(生物研)</p> <p>613 ○小沢憲二郎1・川東広幸2(1.北農研、2.生物研) コシヒカリ等、イネ高頻度形質転換系の確立とその利用</p> <p>614 ○樋江井祐弘・小鞠敏彦(J T植物イノベーションセンター) アグロバクテリウムによるインディカイネ形質転換の改良手法</p> <p>615 ○石田祐二1, 斎藤秀章2, 樋江井祐弘1, 小鞠敏彦1(1.J T植物イノベーションセンター、2.J T研究開発統括部) アグロバクテリウムによるトウモロコシ形質転換の改良手法</p> <p>616 ○喜多 洋一1,2・M. S. Hanafy3・喜多村啓介1・北山 雅彦2・石本 政男3(1.北大農、2.愛媛女子短大、3.北農研) 子葉節からの再分化に適したダイズの選定とアグロバクテリウム法による組換え体の作出</p>	<p>◆座長 石川隆二(弘大農生)</p> <p>713 ○律那・大西近江(京大院農) 分子マーカー(trnK/matK、PCR-RFLP)からみた、ダイコンとその近縁種の系統関係</p> <p>714 山岸 博・尾崎昭子・山下陽子(京都産大工) 日本のダイコンの起源と分化.XIII.ハマダイコンにおけるミトコンドリアcox I領域の構造の集団間、集団内変異</p> <p>715 ○石橋篤志・山岸博(京都産大工) ミトコンドリアのcox I領域の塩基配列多型を用いたハツカダイコンおよび日本のダイコンにおける品種分類</p> <p>716 ○半田裕一(農業生物資源研) 種内系統関係からみたナタネミトコンドリアプラスミドの遺伝性と起源</p>
<p>◆座長 吉村淳(九大農農)</p> <p>417 ○富樫英美1・坂本浩司2・菊池亮1・斎藤敦夫2・釘貫靖久3・平井正志4・岡崎桂一1(1.新潟大農、2.タキイ種苗、3.アサヒ農園、4.京都府大農) Brassica oleraceaにおけるパーナリゼーション関連遺伝子FLCのシーケンス及び発現解析</p> <p>418 ○南山泰宏1・津呂正人2・平井正志1,3(1.京都農資セ、2.名城大農、3.京都府大院農) トウガラシにおける形態形質に関するQTL解析</p> <p>419 ○深澤(赤田)朝子1・千葉憲幸1・工藤剛1・今智之1・佐藤耕1・五十嵐恵2・初山慶道2・阿部佳枝2(1.青森農林総研セリんご試、2.青森農林総研セグリンパイオセ) リンゴ果実形質に関するQTL解析の試み</p>	<p>◆座長 山田恭司(富山大理)</p> <p>517 ○蛭谷武志1・山本良孝2・表野元保1・矢野昌裕3・舟根政治1(1.富山農技セ、2.富山県庁、3.生物研) イネ第5染色体に座上する基白粒の発生に関する遺伝子座の連鎖解析</p> <p>518 ○谷中美貴子・高田兼則・石川直幸(近中四農研) 準同質遺伝子系統を用いたコムギ高分子量グルテニン遺伝子Glu-D1dがポリマータンパク質の量とサイズ構成に与える効果の解析</p> <p>519 ○船生岳人・加藤恭宏・中村充(愛知農総試) 高温登熟条件下で栽培した水稻品種における玄米品質低下程度の比較</p>	<p>◆座長 石本政男(北農研)</p> <p>617 ○霍田真一・堀元直樹・山川一富・権藤崇裕・明石 良(宮崎大農) パーティクルガンを用いたローズグラスの形質転換法の確立</p> <p>618 ○呉世寛1,3, 須永亜矢子2, 萩尾高志2, 小長谷賢一2, 蒲池伸一郎2, 安藤杉尋2, 津田麻衣2, 望月順子2, 田部井豊2, 金階瑛3(1.作物研究所、2.農業生物資源研究所、3.韓国農村振興庁嶺南農業研究所) 減圧エレクトロポレーション法によるイネ完熟種子への遺伝子導入</p> <p>619 須永亜矢子1・萩尾高志1・呉世寛2,3・武田真4・掛田克行5・小長谷賢一1・蒲池伸一郎1・安藤杉尋1・津田麻衣1・望月順子1・田部井豊1(1.生物研、2.作物研、3.韓国嶺南農研、4.香川大農学、5.三重大生物資源)</p> <p>620 谷口祐介・種坂英次・吉田元信(近畿大学農学) シイタケLentinula edodesにおける単核と複核プロトプラストの形質転換</p>	<p>◆座長 半田裕一(生物研)</p> <p>717 ○大坪久子1・徐 建紅1・Marcia Yuri Kondo1・程 朝陽1・土本 卓1・倉田のり2・宮林登志江2・大坪榮一1(1.東大分生研、2.国立遺伝研) レトロポゾンp-SINE1によるイネの系統分類</p> <p>718 ○呉健忠1, 江花薫子1, 片桐敏2, 細川聡美2, 吉原里枝2, 唐澤涉2, 程朝陽3, 徐健紅3, 土本卓3, 大坪久子3, 大坪栄一3, 宮林登志江4, 倉田のり4, 河瀬真琴1, 井澤毅1, 門脇光一1, Duncan D. Vaughan1, 奥野貞敏1, 並木信和2, 佐々木卓治1, 松本隆1(1.生物研、2.STAFF研、3.東大分生研、4.遺伝研) p-SINEマーカーを用いた栽培及び野生種イネコレクションにおける詳細な系統解析</p> <p>719 ○石川隆二1・今井克則1・川崎顕子1・信田清夏1・千葉悠貴1・本間照久1・千田峰生2・赤田辰治2・原田竹雄1・新開稔1(1.弘大農生,2.弘大遺伝子実験施設) イネ連鎖不平衡マッピングの応用V.集団構造の解析と系統分化に関連した候補遺伝子座の特定</p> <p>720 ○今井克則1・石川隆二1・千葉悠貴1・本間照久1・千田峰生2・赤田辰治2・原田竹雄1・新開 稔1(1.弘大農生,2.弘大遺伝子実験施設) イネ連鎖不平衡マッピングの応用VI.第6染色体においてインド型・日本型品種間で分化した染色体領域の特定</p>
<p>◆座長 深澤(赤田)朝子(青森農林総研りんご試)</p> <p>421 ○塚崎光・山下謙一郎・宮武宏治・若生忠幸・小島昭夫(農研機構野菜茶研) ネギの初期生育に関するQTL解析</p>	<p>◆座長 阿部利徳(山形大農)</p> <p>520 ○塔野岡卓司・吉岡藤治(農研機構・作物研) プロアントシアニン欠失オオムギ準同質遺伝子系統における品質特性</p> <p>521 ○河野雄飛・高田吉文・加藤信・湯本節三(東北農研) 豆腐破断強度と豆乳ミネラル成分の品種間差異</p>	<p>◆座長 明石 良(宮崎大農)</p> <p>621 亀谷七七子・中村郁郎(千葉大院自然科学) タバコのSuRA遺伝子座における標的遺伝子破壊</p>	<p>721 ○水上仁・南角奈美・元井由加・堀清純・佐藤和広・武田和義(岡山大資生研) オオムギESTを用いた遺伝資源のフィンガープリンティングと連鎖解析の試み</p>

2日目(3月30日) 午前			
3月30日	第1会場(第1講義棟 1講-25号)	第2会場(第1講義棟 1講-24号)	第3会場(第1講義棟 1講-16号)
11:15	122 ○熊谷陽太・佐山博子・北村龍平・川合伸也(農工大農) リグニン生合成に関与する転写因子の解析	223 ○藤澤雅樹, 並木信和, 柴田未知恵, 伊藤幸代, 山本麻裕, 濱田昌雄, 向井善之, 中村まり, 山形晴美, 神谷梢, 栗田加奈子, 菊田有里, 備藤毅人, 藤塚奈穂子, 片桐敏, 佐治章子, 唐澤沙, 吉原里枝, 金森裕之, 呉健忠, 松本隆, 佐々木卓治(生物研/STAFF・イネゲノム研究チーム) イネ第1染色体のインド型品種「Kasalath」と日本型品種「日本晴」の比較ゲノム解析	321 ○泉雅之1・大橋芳1・網島紗織1・周金妹1・平田豊1(1.農工大・院・国際環境農学) カンキツキメラの形態的, 生理的, 遺伝的分析
11:30	123 ○大森良弘1・大坪あかね1・石川元一2・鳥羽大陽1,2・中村英光3・市川裕章3・平野博之1,2(1.東大院理, 2.東大院農学生命, 3.生物研) DROOPING LEAF(DL)遺伝子イントロンの保存性と多様性	224 ○金森裕之, 山下優美子, 町田佳代, 備藤毅人, 林亜貴子, 小林春美, 中村まり, 山形晴美, 神谷梢, 柴田未知恵, 伊藤幸代, 山本麻裕, 細川聡美, 吉原里枝, 宮尾安藝雄, 佐々木卓治, 廣近洋彦(STAFF研/生物研) イネ遺伝子破壊系統の挿入隣接塩基配列の大量解析	322 ○片野匠・宮沢裕章・鈴木克彰・平田豊(農工大・院・国際環境農学・植物育種) 接木によるトウガラシの草型変異および関連遺伝子の解析
11:45	124 ○鳥羽大陽1,2・原田浩介1・高村篤志1・寿崎拓哉2・中村英光3・市川裕章3・平野博之1,2(1.東大院農学生命, 2.東大院理, 3.生物研) イネYABBY遺伝子ファミリーの包括的解析とOsYABBY1の機能解析	225 ○渡辺敦史1・磯田圭哉1・栗田学1・近藤禎二(1.林木育種センター) マツノサイエンチュウを接種したクロマツ個体からの遺伝子の単離	

2日目(3月30日) 午後			
3月30日	第1会場(第1講義棟 1講-25号)	第2会場(第1講義棟 1講-24号)	第3会場(第1講義棟 1講-16号)
13:00	◆座長 宇都木繁子(岡山大資生物研) 125 ○一色正之1・松田康之1・高崎彩1・佐藤光2・島本功1(1.奈良先端大バイオ, 2.九大農) イネ低アミロース変異体dullの原因遺伝子単離と機能解析	◆座長 田淵宏朗(中央農研) 226 ○米澤勝衛1・石井卓朗2(1.京都産大工学部, 2.茨城生工研) マーカー選抜を用いて有用遺伝子を単一の遺伝子型に集積するための効率的な作業手順. Part I: 対象遺伝子についてヘテロな遺伝子型の作出	◆座長 今村順(玉川大農) 323 ○村井耕二, 漆川直希, 石川敦司(福井県大生物資源) コムギの花成におけるジベレリン経路に関与するコムギSOC1相同遺伝子(WSOC1)の解析
13:15	126 ○柴山拓司, 米鍾源, 井上國世, 奥本裕, 中崎鉄也, 谷坂隆俊(京大院農) イネ新規ヒキチン様タンパク質RURM1のクロロニング, 大腸菌発現および精製	227 ○石井卓朗1, 米澤勝衛2(1.茨城生工研, 2.京都産大工) マーカー選抜を用いて有用遺伝子を単一の遺伝子型に集積するための効率的な作業手順. Part II: 対象遺伝子についてホモな遺伝子型の選抜	324 小野寺康之1, 2, 小野里歩2, 三上哲夫2, Craig S. Pikaard1(1 Bio, Dep., Washington U., 2 北大農) RNAポリメラーゼIIおよびIIIサブユニット機能欠損変異は雌性配偶体致死を引き起こすが, 花粉を介して次世代に伝達される。
13:30	127 Chen Hui1・Partha P.Samadder2・大平達也1・宮尾安藝雄3・広近洋彦3・草場信4・西村実3・大平高之5・土本卓5・大坪久子5・○西口正通1(1.愛媛大農, 2.ノースカロライナ大, 3.生物研, 4.東大院農, 5.東大分生研) Tos17挿入イネ 変異系統を利用したRNAサイレンシング関与遺伝子の解析: QDE-3ホモログ	228 ○藤井 潔1・辻 孝子1・吉田朋史1・船附稚子2・池田達哉3(1.愛知農総試, 2.北農研, 3.近中四農研) コムギのふ色遺伝子Rg1は低分子量グルテニン・サブユニットのGlu-B3座の遺伝子型選抜マーカーとして使用できる	325 野々村賢一1,2・諸星亜加子1・永口 貢1・宮尾安藝雄3・広近洋彦3・倉田のり1,2(1.遺伝研, 2.総研大生命科学, 3.農業生物資源研) イネの生殖細胞発生が異常になるmeal突然変異体の細胞学的解析
13:45	128 ○太田垣駿吾・後藤一法・増田税・金澤章(北大・院・農) キュウリモザイクウイルスに由来する新規ウイルスベクターによる高効率の転写型および転写後型ジーンサイレンシングの誘導	229 ○森 一幸1・田宮誠司1・向島信洋1(1.長崎県総合農林試験場) 「1分間DNA抽出法」による各種DNAマーカーを用いたバレイシヨ病虫害抵抗性個体の選抜法	326 中澤佳子1・○天谷正行2・生井潔2・小島昭夫3・小林俊一2・田崎公久2・飯村一成2・松本紀子2(1.河内農振, 2.栃木農試, 3.野菜茶研) ニラ四倍体における単為発生性の遺伝様式の推定と複相大胞子形成する非単為発生性個体の発見
14:00	◆座長 草場信(東大院農) 129 ○持田恵一1・川浦香奈子2・佐々木孝行3・新井理4・小原雄治4・荻原保成2(1.理研PSC, 2.京都府大院・農, 3.岡山大・資生研, 4.遺伝研) ESTの大量解析によるコムギアルミニウム応答トランスクリプトームの特徴づけ	◆座長 藤井深(愛知農総試) 230 ○松下景1・伊藤健一2・大塚隆志2・春原嘉弘1・飯田修一1・前田英郎1・新出昭吾2(1.近中四農研, 2.広島畜技セ) 脱粒性極難系統を用いたイネホールクロップサイレージの子実消化率は高い	◆座長 野々村賢一(遺伝研) 327 ○板橋悦子・風間智彦・鳥山欽哉(東北大院農) Ld型およびBo型細胞質雄性不稔イネにおけるミトコンドリアatp6遺伝子の穏性回復遺伝子による転写後制御
14:15	130 ○平野 久1, 石津有理1, 2, キクチユリア1, 高田真由美1, 佐々英徳1, 3, 香川裕之1, 高岡素子4, 山中結子1, 桑原裕尚1, 談 建中1, 5(1.横浜市大院国際総合, 2.理研免疫アレルギー研, 3.千葉大園芸, 4.鎌倉女子大家政, 5.中国蘇州大) ダイズレグニン結合タンパク質アイソフォームの特徴	231 ○岡野克紀1・石井卓朗1・岡本和之1・眞部徹1・平澤秀雄1・宮本勝2・平山正賢3・根本博3(1.茨城生工研, 2.茨城農研, 3.作物研) 安定多収の陸稲新品種「ひたちはたもち」の育成	328 ○太田宇香・長野宏則・佐野芳雄(北大院農) イネミトコンドリアCMS遺伝子によって見出されたヘテロプラスミー
14:30	131 ○宅見薫雄・嶋村知紗・江川千佳子・久米忍・石橋万智子・小林史典(神戸大農) 形質転換タバコを用いたパンコムギ低温応答性遺伝子の解析	232 ○田村克徳1・梶亮太1・溝淵律子2・岡本正弘1・平林秀介3・深浦壮一4・西村実2・八木忠之5・坂井真1(1.九州農研, 2.生物研, 3.作物研, 4.熊本農研, 5.元 中央農研) 優良食味・優良質の水稲新品種「にこまる」の育成	329 ○松平洋明・品田博史・栗野(由井)里香・久保友彦・三上哲夫(北大院農) タバコ特異的LTP遺伝子はテンサイの細胞質雄性不稔株で発現が低下する

2日目(3月30日)午前			
第4会場(第1講義棟 1講-15号)	第5会場(第1講義棟 1講-14号)	第6会場(2号館+新2号館 2-11)	第7会場(2号館+新2号館 2-21)
422 ○津呂正人・諏訪部圭太・久保中央 3,4・松元 哲5・平井正志3,4(1.名城大農、2.三重大生物資源、3.京都府大院農、4.京都農産セ、5.野菜茶試) ダイコンにおける根の肥大性および着色性に関するQTL解析	522 ○田中淳一・澤井祐典・谷口郁也・荻野 暁子(農研機構 野菜茶業研究所) 「静-印雑131」に由来する茶の香気成分 アントラニル酸メチル含有はMat遺伝子 座によって支配されている	622 ○三柴啓一郎、西原昌宏2、中塚貴司 2、阿部善子2、山村三郎2(1.大阪府大院 生命環境、2.(財)岩手生物工学研究セン ター) 外来遺伝子発現が抑制された組換えリン ドウにおけるT-DNA領域の解析	◆座長 呉健忠(生物研) 722 ○秋本正博1・渡部伶子1・藤倉雄司1・ Angel Mujica2・本江昭夫1 (1.畜畜大、 2.Altiplano U.) アンデス産アカザ科穀類「キヌア」の遺 伝資源評価III 北海道における適性品種 の選抜
423 ○藤田敏郎1,劉宝輝1,顔沢洪2,許東河2,喜 多村啓介1,阿部純1(1.北大院農,2.国際農 研) ダイズにおける栽培化関連形質のQTL解 析	523 ○荻野暁子1,田中淳一1,谷口郁也1,山田 恭司2(1.農研機構・野菜茶業研究所,2.富 山大・理・生物) チャの近縁野生種タリエンスとチャの 種間交雑後代に見出されたカフェインレ ス系統	623 ○志波朋美・久保賢太郎・川合伸也 (農工大農) リグニン生合成酵素発現抑制による飼料 イネの分子育種	723 ○寺沢洋平1・笹沼恒男1・河原太八2・ 笹隈哲夫1(1.横浜市大木原生研、2.京大 農) アフガニスタンのコムギ在来品種の遺伝 的多様性 IV.HMWグルテニン・AFLP フィンガープリントによるクラスター解 析
424 ○Ohm Mar Saw・土井一行・吉村 淳 (九大院農) ミャンマー産イネ品種の粒長および粒幅 に関するQTLの変異	524 ○岡本和之1・梅本貴之2・石井卓朗1・ 眞部徹1・岡野克紀1・平澤秀雄1 (1. 茨城農総セ 生物工学研究所、2.作物研 究所) 日本陸稲における中間型アミロペクチン の構造および糊化特性について	624 講演取り消し	724 ○加藤謙司1・田中克典1・明石由香利 1,2・松浦誠司3(1.岡山農大、2.(株)三種 子、3.(株)トーホク) インド東北部の在来メロンにおける多様 性解析

2日目(3月30日)午後			
第4会場(第1講義棟 1講-15号)	第5会場(第1講義棟 1講-14号)	第6会場(2号館+新2号館 2-11)	第7会場(2号館+新2号館 2-21)
◆座長 佐藤和広(岡山大資生研) 425 葉勝海1・○小林麻子2・冨田桂2(1. 浙 江省農業科学院、2. 福井農試) イネの玄米品質に関するQTL解析 II 高温条件下における背白・基白米の発生 に関するQTLの検出	◆座長 中国幹生(東大農生命科学) 525 ○山本 裕二郎1、会田 剛彦2、森脇 哲平 1、舟橋 達也3、穴戸 利行4、浅田 正貴 5、廣瀬 咲子6、駒澤 穆7、本橋 強1(1.東 大農大、2.北大院農学、3.タキイ種苗 (株)、4.キリンビール(株)、5.横浜国大院 環境情報、6.農業生物資源研、7.進化生 研) katE遺伝子導入による形質転換耐塩性 インド型イネBR-5のT1およびT2世代の形 質評価	◆座長 矢頭治(中央農研北陸) 625 ○若佐雄也・高岩文雄(生物研) 種子中に機能性ペプチドを高蓄積させた イネの開発戦略	◆座長 岩田洋佳(中央農研) 725 ○岩崎理恵・大田正次(福井県大生物資 源) コムギ近縁野生種 <i>Aegilops umbellulata</i> Zhuk.における種内雑種の染色体対合と 穏性
426 ○池上勝1・吉田晋弥1・上島信志2(1.兵 庫県立農林水産技術総合センター、2.神 戸大農) 数種の酒米品種の交雑F1個体を用いた心 白発現と粒大の遺伝解析	526 ○清水顕史・柳橋勇介・新名陽平・加藤 謙之・穴戸理恵子・野村和成・池橋宏 (日大生物資源) イネの低pHストレス耐性に関する遺伝解 析	626 ○山田哲也1,2・松田史生2・櫻井美奈子 2・宮川友子2・宮川恒2,3・喜多村啓介 1・若狭暁2,4(1.北大院農、2. CREST、 3. 京大院農、4. 東京農大) フェニルアラニンを過剰に生産するイネ 形質転換体の作出	726 根本和洋1,○松下岳2,南峰夫1,松島憲一1, 勝田真澄3(1.信大院農,2.信大農,3.作物 研) <i>Amaranthus caudatus</i> L.に見出されたア ミロース含量変異体の特性
427 ○汐沙沙知子1・西尾剛1・遠藤貴司2・ 山口誠之2(1.東北大院農学、2.東北農研) 雲南品種麗江新田黒谷に由来する穂ばら み期耐冷性を有するイネ系統のグラフ遺 伝子型とQTLの解析	527 ○寺嶋彰弘・宅見薫雄(神戸大農) タルホコムギの乾燥耐性の自然変異と Cor/Lea遺伝子群の発現解析	627 川村温夫1・○松本謙一郎1・島田浩章 1(1.東京理科大) 遺伝子組換えイネによるポリヒドロキシ アルカン酸の合成	727 ○山崎清志・小林大記・乾秀之・今石浩 正・大野清春(神大農学環境制御) トランスクリプトームにおける遺伝子品 種間差異
428 ○千葉文弥1・佐々木都彦1・我妻謙介 1・遠藤貴司2・永野邦明1(1.宮城県古川 農試、2.東北農研) イネ第4及び第7染色体上の穂ばらみ期耐 冷性関連QTLの集積効果	◆座長 高野哲夫(東大アジアセン ター) 528 ○高橋竜一・高野哲夫(東大アジアセン ター) 塩感受性ヨシにおけるPhaHAK5の機能 解析	628 ○中本有美1, Moemen S. Hanafy1, 2, Shaikh M. Rahman1, 3, 藤原 徹4, 若狭 暁1, 5, 石本政男1, 2 (1. CREST, 2.北 農研, 3.近農研, 4.東大, 5.東農大) シロイヌナズナのシスタチオニンナー合 成酵素遺伝子を導入したダイズとアズキ における遊離メチオニンの増加	728 ○高橋弘子1・森直樹2・河原太八3・加 藤謙司4・佐藤洋一郎5・中村郁郎1(1.千 葉大院自然科学、2.神戸大農、3.京都大 院農学、4.岡山農大、5.地球研) 普通系コムギのA、B、Dゲノムに特異的 なPolA1遺伝子の起源
429 ○一谷勝之1・友岡純一1・竹田修一1・ 田浦悟2・佐藤宗治1(1.鹿児島大農,2.鹿 児島大遺伝子実験施設) BC5F1世代を用いて分析した矮性遺伝子 座d35、d50とイネの稈長に関するQTLと の間の交互作用	◆座長 高野哲夫(東大アジアセン ター) 529 ○糸川晃伸・大野おかり・渡辺浩久・加 藤彦夫(栃木県農試栃木分場) オオムギSSD集団における穂形態形質が 赤かび病抵抗性に及ぼす影響	◆座長 辻本壽(鳥取大農) 629 西澤けい1,喜多洋一2,北山雅彦2,○石 本政男1(1.北農研、2.愛媛女子短大) 赤色蛍光タンパク質を発現したダイズの 作出と利用	◆座長 大田正次(福井県大生物資源) 729 ○山際宏昭1, 笹沼恒男1, 河原太八2, 笹 隈哲夫1 (1.横浜市大木原生研 2.京大 院農学) USゲノムを持つ四倍性エギロブスのUゲ ノム特異的PCR増幅領域に基づく系統解 析
◆座長 福田善通(国際農研センター) 430 ○藤野賢治1・関口博史1・矢野昌裕2 (1.北海道グリーンバイオ研究所、2.生物 研) イネ低温発芽性QTLの高精度マッピング	530 ○日下雅之1・太田賢1・藤村達人1(1.筑 波大院生命環境) 急速な乾燥条件下での葉の折り畳みと浸 透調節の耐乾性への寄与	630 ○安本景太・寺地徹・山岸博 (京都産 大工) オグラ型細胞質雄性不稔に対するハマダ イコン型穏性回復遺伝子のBrassica属野 菜への導入	730 ○小山麻希・三上孝治・中井孝彦・酒井 隆子・森正志(協和種苗(株)) RAPDマーカーで推定したブロッコリー (<i>Brassica oleracea</i> var. <i>italica</i>)および キャベツ(<i>B. oleracea</i> var. <i>capitata</i>)固定 系統間の遺伝距離と生育型におけるヘテ ロシスとの関係
431 堀清純・○佐藤和広・石井誠・武田和義 (岡大資生研) オオムギにおける休眠性のQTL解析	531 河野研・○佐山貴司・中崎鉄也・吉川貴 徳・奥本裕・葉山拓司・谷坂隆俊 (京 大院農) ダイズの種皮特性が発芽前冠水抵抗性に 及ぼす効果	631 ○堀口紀子・川合伸也(東京農工大学大 学院農学教育部) 2,4-D分解酵素発現植物の解析	731 ○井手一夫1・宮地智広1・宮内花葉1・ 梶亮太2・小川紹文1(1.宮崎大学農学部、 2.九州沖縄農業研究センター) イネ白葉枯病抵抗性遺伝子Xa4と品種分 化に関する形質との関係

2日目(3月30日)午後			
3月30日	第1会場(第1講義棟 1講-25号)	第2会場(第1講義棟 1講-24号)	第3会場(第1講義棟 1講-16号)
14:45	132 ○辻寛之1、上口(田中)美弥子1、中嶋正敏2、声苅基行1、北野英巳1、山口五十磨2、松岡信1(1.名大・生物機能開発、2. 東大院・農学生命科学)ジベレリン情報伝達制御因子SLR1、GID1及びGID2の相互作用の解析	233 ○小林和幸1,2・福山利範3(1.新潟農大,2.新潟大院自然科学,3.新潟大農)地域活性化を目指した新規開発イネ品種の効果的な導入と普及のための実証的研究. 1. 有酸素米品種の普及上の問題点と解決方策	330 川合麻紀子1・大嶋雅夫1・酒井隆子2・○今村順1(1.玉川大農学、2.協和種苗)CMS原因遺伝子orf125のコピー数減少を伴うコセナCMSナタネの総性回復
15:00	◆座長 平野久(横浜市大国際総合科学) 133 Sopian, T.1, G. Gulyas1, 焦 鋒2, 平田 豊1(1.農工大・国際環境農学, 2.NARC・病害防除部糸状菌病害研究室)クワにおけるホルモン関連遺伝子のクローニング	◆座長 石井卓朗(茨城生工研) 234 ○関昌子1・藤田雅也1・松中仁1・乙部千雅子2・吉岡藤治1・柳沢貴司3・吉田久1・長嶺敬4・山口勲夫5(1.作物研,2.農研機構本部,3.近中四農研,4.栃木農試,5.植物ゲノムセンター)もち性小麦新品種「うらもち」の育成	◆座長 佐々英徳(千葉大園芸) 331 ○藤井壮太1・小松節子2・鳥山欽哉1(1.東北大院農,2.農業生物資源研)CW型細胞質雄性不稔系統における核遺伝子発現の網羅的解析
15:15	134 ○大西成人・氷見英子・野田和彦(岡山大学資生研)コムギのABIS様遺伝子の単離と発現解析	235 深浦壯一1・○洲上国弘1・飯牟禮和彦1・中澤芳則2・手塚隆久2(1.熊本農研セ, 2.九州農研セ)硬くて良質のイグサ品種「夕風」の育成	332 Gulyas G.1, H.T. Kim2, J.S. Lee3, K. Pakozdi4 and 平田 豊1(1. 農工大院植物育種,2. 農工大大学院連大, 3. Dong Won Nong San Seed Co. 4. New Mexico State Uni.)トウガラシにおけるCMSおよびその回復に関する解析.
15:30	135 ○小林史典・宅見薫雄(神戸大農)チホクコムギのABA感受性変異体における低温凍結耐性の差異	236 ○草場 信1・森田竜平2・飯田修一3・田中亮一4・田中歩4・西村 実2(1.東大農, 2.生物研放育場, 3.近中四農研, 4.北大・低温研)イネstay green突然変異体nyc1の解析	333 ○柿崎智博1・藤岡智明1・高田美信2・鈴木剛2・高畑義人1・樽谷芳明3・柴博史3・高山誠司3・磯貝彰3・渡辺正夫4,5(1.岩手大・農, 2.大阪教育大, 3.奈良先端大・バイオ, 4.東北大院・生命科学, 5.岩手大・21世紀COE)アブラナ科自家不和合性における花粉側優劣性とDNAメチル化の関係
15:45	136 ○宇都木繁子1, 中村伸吾2, 前川雅彦1(1.岡山大学資生研, 2.作物研)種子休眠に関わるコムギbZIPタンパク質の解析	237 MANGKITA W.1), P. PIMKAEW2), Y.KACHONPADUNGKITTI2), 大澤良1) and 久島繁(1筑波大学生命環境科学研究科, 2タマサート大学科学技術学部)試験管内交雑による種内雑種育成について	334 ○堀崎敦史・新倉聡(株)トーホク)Brassica rapa自家不和合性程度の評価に有効な虫媒受粉の要因解析
16:00	137 ○正木俊平・山田哲也・金勝一樹(農工大農)イネ種子の発芽初期過程で変動するDNA結合タンパク質の解析		◆座長 村井耕二(福井県大生物資源) 335 ○守谷友紀1・山本健太郎1・岡田和馬1・岩波宏2・中西テツ1,3・高崎剛志3(1.神戸大院自然科学研究科, 2.農研機構果樹研(盛岡), 3.神戸大農)セイヨウナシにおける17種類のS対立遺伝子の全長cDNAの単離・解析と遺伝子型を推定するPCR-RFLPシステムの開発
16:15			336 ○岡田和馬1・柏木由夏1・守谷友紀1・澤村豊2・桑岡茂巳3・中西テツ1・高崎剛志4(1.神戸大院自然科学研究科, 2.農研機構果樹研, 3.大阪大生命機能研究科, 4.神戸大農学部)ニホンナシS4smハプロタイプにおけるS4-RNase周辺欠失領域の同定
16:30			337 O Kim, H.T.1, D.I. Kim2, I.S. Shin2, Y.U. Shin2 and 平田 豊1(1.農工大・院・連大・植物遺伝育種, 2. Natl. Hort. Res. Inst. RDA)リンゴの新しい二つの自家不和合性遺伝子('S31' and 'S32')の分子的特性
16:45			338 ○佐々英徳1・平野久2(1.千葉大園芸, 2.横浜市大国際総合科学)ペチュニアにおける自家不和合性因子HT様の新規タンパク質

2日目(3月30日)午後			
グループ研究集会			
3月30日	第2会場(第1講義棟 1講-24号)	第3会場(第1講義棟 1講-16号)	第4会場(第1講義棟 1講-15号)
17:30	グループ研究集会Ⅰ	グループ研究集会Ⅱ	グループ研究集会Ⅲ
↓			
19:30	データに埋もれるな! -Breeding Informatics 研究Ⅰ-	農作物の生殖成長制御	作物種子研究の最前線
	世話人: 岩田洋佳(中央農研) 矢野健太郎(かずさDNA研) 話題提供 二宮正士(中央農研) 「育種・栽培試験データマイニング基盤の創出」 岩田洋佳(中央農研) 「イネ遺伝資源を用いた連鎖不平衡マッピングの試み」 矢野健太郎(かずさDNA研) 「データベースとウェブ・ツールから得られる遺伝子情報の利用例」	世話人: 村井耕二(福井県大生物資源) 寺地徹(京都産大工) 話題提供 東山哲也(東大院理) 「花粉管はどのようなメカニズムで胚のうへ到達するのか?」	世話人: 吉田元信(近畿大農) 田畑哲之(かずさDNA研) 山田恭司(富山大理) 話題提供 高岩文雄(生物研) 「遺伝子組換えによる健康機能性米の可能性」 石本政男(北海道農研センター) 「ダイズ種子成分の遺伝子操作」

2日目(3月30日)午後			
第4会場(第1講義棟 1講-15号)	第5会場(第1講義棟 1講-14号)	第6会場(2号館+新2号館 2-11)	第7会場(2号館+新2号館 2-21)
432 ○白澤健太・佐々木都彦・永野邦明 2. 岸谷幸枝1・西尾剛1(1. 東北大院農、2. 宮城古川農試) 玄米外觀品質に基づく登熟期高温ストレス耐性のQTL解析	532 ○間野吉郎1・大森史恵1・高溝正1・B. Kindiger2・R.McK. Bird3(1. 畜草研、2. アメリカ農務省、3. ノースカロライナ州立大学) テオシント幼植物における根の通気組織形成能のQTL解析	632 ○平道哲理・川合伸也(東京農工大学大学院農学教育部) 植物酸性ペルオキシダーゼprxA3aのA165W変異体の基質特性解析	732 ○泉館聡・阿部利徳(山形大農) SSRマーカーによるエダマメ用ダイズ品種の判別
433 ○加藤明・Zhan Qingcai(北農研) 低温によるイネのクロロシスの遺伝解析	◆座長 席田淳史(北海道グリーンバイオ研) 533 ○田口和憲・岡崎和之・高橋由之・中司啓二(北海道農研) テンサイ黒根病抵抗性遺伝子座の同定	◆座長 高岩文雄(生物研) 633 ○古谷規行1・山岸紀子2・日高操2(1. 京農資セ、2. 東北農研) CP遺伝子導入によりダイズモザイクウイルスに抵抗性を示す形質転換ダイズの解析	◆座長 山根京子(大阪府大院生命環境) 733 ○橋口正嗣・窪田真一・明石 良(宮崎大農) NPシロアノミヤコグサ(Lotus australis)の諸特性について
◆座長 千葉文弥(宮城古川農試) 434 ○竹久妃奈子1・上田忠正2・福田善通3・阿部知子4・矢野昌裕2・山谷知行5・佐藤雅志1(1. 東北大院生命科学、2. 生物研、3. 国際農研センター、4. 理研、5. 東北大農学) 塩害水田におけるイネ葉身のBronzingの発症を支配する2QTL間の相互作用	534 ○M.A.U. DOULLAH・K. Okazaki(Grad. Sch. Sci., Niigata U.) Screening of resistance to dark leafspot (Alternaria brassicicola) in Brassica rapa.	634 ○矢頭治・川田元滋・吉田均・平八重一之・芦澤武人・高橋真実・青木秀之・田淵宏朗・大槻寛・日比忠晴・提審祥幸・田中宥司(中央農研・北陸) カラシナ・ディフェンシン遺伝子導入耐病性イネの隔離圃場栽培実験(中間報告)	734 ○太田 智1, 2, 3・村上 寛4・勝木俊雄5・西谷千佳子3・山本俊哉3・大村三男2・稲葉善太郎4(1. 岐大連農、2. 静大農、3. 果樹研、4. 静岡農試南伊豆分場、5. 森林総研) サクラ栽培品種の由来 1. DNAマーカーによる河津桜など伊豆地方の品種の解析
435 ○佐藤秀樹・出原慧・佐藤美米子・高橋秀和・服部浩之・茅野充男・森宏一・赤木宏守(秋田県大生物資源) イネ「あそみのり」と「R24」との組換え自殖系統群におけるカドミウム吸収に関するQTL解析	535 ○佐藤宏之1, 安東郁男1, 平林秀介1, 竹内善信1, 荒瀬 栄2, 木原淳一2, 加藤 浩1, 井辺時雄1(1. 作物研、2. 鳥根大) イネ品種Tadukanにおけるごま葉枯病抵抗性のQTL解析	635 ○佐野玄周1・渡辺信2・鎌田博3・江面浩3(1. 筑波大生物資源、2. 筑波大遺セ、3. 筑波大院生命環境) 第二種使用における網を2重に使用した特定網室に関する研究	735 前阪良和・坂口梓織・岩崎理恵・中野由梨・○大田正次(福井県大生物資源) 種内および種間F1雑種の稔性に基づくAegilops neglecta四倍体2変種とAe. columnarisの間の細胞遺伝学的類縁性
436 ○堀清純・元井由加・佐藤和広・武田和義(岡大資生研) 二条オオムギのトップ交雑に由来するRI集団における赤かび病抵抗性QTLの比較	536 ○吉田朋史・辻孝子・藤井潔(愛知農総試) コムギの節間伸長期における耐湿性の品種間差異	636 ○津田麻衣1・蒲池伸一郎1・小長谷賢一1・秋尾高志1・金子幸雄2・田部井豊1(1. 生物研、2. 宇都宮大農) アブラナ科作物の種間雑種形成に及ぼす根圏の影響と雑種種子の発芽能	736 ○赤坂舞子1, 牛木純1, 岩田洋佳1, 石井俊雄2(1. 中央農業総合研究センター、2. 岡山県農業総合研究センター) イネ品種判別用STSマーカーによる岡山県に発生した雑草イネと栽培品種の類縁性の解析
437 ○磯田圭哉1・渡辺敦史1・倉本哲嗣2・近藤禎二1(1. 林育セ、2. 林育セ九州) アカマツのマツノザイセンチュウ抵抗性に関するQTL解析	537 ○竹内一成・福山利範(新潟大農) 北陸・東北地域におけるオオムギ雲形病菌の年次間および採集地間変異	◆座長 寺地徹(京産大工) 637 ○山口聰・和田知子・佐々木かおり(愛大農学部) 三倍体ツバキ「石鐘」の実生後代の染色体核型変異	◆座長 酒井隆子(協和種苗) 737 ○青木大輔・山口裕文(大阪府立大生命環境科学) ITS領域および葉緑体DNAの塩基配列にみられるイヌビエのアジア産と新大陸産系統の遺伝的差異
		638 ○資全文・田中裕之・中田昇・辻本壽(鳥取大農) 8倍性ライコムギから自然派生した6倍性系統の連続的GISHおよびFISH分析	738 大西近江(京大院農学) ソバ野生祖先種(Fagopyrum esculentum ssp. ancestrale)の分布とアロサイム変異について
		639 ○馮登瑩・高橋秀和・赤木宏守・森宏一(秋田県大生物資源) イネのガンマ線照射による非対称融合雑種の染色体構成に関する画像解析	739 ○山根京子1, 2・河原太八2(1. 阪府大院生命環境、2. 京大院農) コムギ近縁野生種、エギロブス属 Sitopsis 節 Emarginata 亜節はどのように進化したか? -穂の形態と地理的分布からの考察
			740 村松幹夫 ヒガンバナ(2n=3x=33)は完全不稔ではない-野外観察と授粉実験結果-

2日目(3月30日)午後	
グループ研究会	
第5会場(第1講義棟 1講-14号)	試写室1(第1講義棟 1講-12号)
グループ研究会Ⅳ	グループ研究会Ⅴ
育種学と農学のこれからを考える13	第35回生物進化・細胞遺伝懇話会
世話人: 宇賀優作(生物研ジーンバンク) 吉岡洋輔(筑波大院生命環境)	世話人: 木庭卓人(千葉大園芸) 森直樹(神戸大農)
話題提供 吉田健太郎(京都大院農) 「植物の分子集団遺伝学 -シロイヌナズナと野生イネの遺伝的多様性-」	話題提供 栗田子郎(千葉大名大教授) 「ヒガンバナ属の分類と交雑による種形成」

講演番号・座長一覧

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場
29日午前	101-104 門脇光一 9:00~10:00	201-205 才宏偉 9:00~10:15	301-304 矢野昌裕 9:00~10:00	401-404 貴島祐治 9:00~10:00	501-504 大澤良 9:00~10:00	601-604 久保山勉 9:00~10:00	701-703 柏原正和 9:00~9:45
	105-108 高倉由光 10:00~11:00	206-209 福岡浩之 10:15~11:15	305-308 穴戸理恵子 10:00~11:00	405-409 平野博之 10:00~11:15	505-506 三位正洋 10:00~10:30	605-608 房相佑 10:00~11:00	704-708 大川泰一郎 9:45~11:00
	109-112 山田哲也 11:00~12:00	210-213 王子軒 11:15~12:15	309-311 野々上慈徳 11:00~11:45	410-412 西尾剛 11:15~12:00	507-509 野村和成 10:30~11:15 510-512 船附秀行 11:15~12:00	609-612 池田奈実子 11:00~12:00	709-712 富田因則 11:00~12:00
30日午前	113-116 一色正之 9:00~10:00	214-217 穴井豊昭 9:00~10:00	312-315 前川雅彦 9:00~10:00	413-416 平井正志 9:00~10:00	513-516 中村郁郎 9:00~10:00	613-616 田部井豊 9:00~10:00	713-716 石川隆二 9:00~10:00
	117-120 高畑義人 10:00~11:00	218-221 渡部信義 10:00~11:00	316-319 長谷川博 10:00~11:00	417-420 吉村淳 10:00~11:00	517-519 山田恭司 10:00~10:45	617-620 石本政男 10:00~11:00	717-721 半田裕一 10:00~11:15
	121-124 山岸博 11:00~12:00	222-225 田浦悟 11:00~12:00	320-322 佐藤雅志 11:00~11:45	421-424 深澤(赤田)朝子 11:00~12:00	520-524 阿部利徳 10:45~12:00	621-624 明石良 11:00~12:00	722-724 呉健忠 11:15~12:00
30日午後	125-128 宇都木 繁子 13:00~14:00	226-229 田淵宏朗 13:00~14:00	323-326 今村順 13:00~14:00	425-429 佐藤和広 13:00~14:15	525-528 中園幹生 13:00~14:00	625-628 矢頭治 13:00~14:00	725-728 岩田洋佳 13:00~14:00
	129-132 草場信 14:00~15:00	230-233 藤井潔 14:00~15:00	327-330 野々村賢一 14:00~15:00	430-433 福田善通 14:15~15:15	529-532 高野哲夫 14:00~15:00	629-632 辻本壽 14:00~15:00	729-732 大田正次 14:00~15:00
	133-137 平野久 15:00~16:15	234-237 石井卓朗 15:00~16:00	331-334 佐々英徳 15:00~16:00	434-437 千葉文弥 15:15~16:15	533-537 梶田淳史 15:00~16:15	633-636 高岩文雄 15:00~16:00	733-736 山根京子 15:00~16:00
			335-338 村井耕二 16:00~17:00			637-639 寺地徹 16:00~16:45	737-740 酒井隆子 16:00~17:00

講演方法

一般演題は口頭発表のみで、発表形式はコンピュータプレゼンテーションです。なお、コンピュータトラブル時に OHP を用意していますので、OHP シートも必ずご持参下さい。やむをえない事情がある場合に限り OHP での発表も認めます。ただし、できるだけコンピュータでの発表を行っていただけますよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。ソフトウェアのライセンスの問題、データの漏洩やコンピュータ・ウイルス感染防止のため講演用のコンピュータを用意していません。発表には、必ずご自分のパソコンをご使用ください。また、大会当日、会場にはプレビューコーナー（第一講義棟 12, 22 号講義室、第二講義棟 12 号講義室の計 3 室）を設け試写用液晶プロジェクターを用意いたします。あらかじめ余裕を持って試写用液晶プロジェクターにて文字化け、段落の崩れ、動作などをご自身で確認してください。D-sub15 ピン（ミニ）のケーブルをご用意いたしますので、試写用液晶プロジェクターにてケーブルの接続を確認して下さい。一部のノートパソコンでは変換用のアダプタが必要な場合がありますので、必ずお持ち下さい。ノートパソコンから外部モニターや液晶プロジェクターに正しく出力されるかあらかじめ確認しておいて下さい。個々のパソコンや OS により設定方法が異なりますので、事前にご確認下さい。

注意点

1. 画面サイズ（解像度）に関しては、発表に使用する液晶プロジェクターは全て XGA（1024×768）に統一してありますので、ご使用のノートパソコンの解像度を XGA に合わせてからレイアウトの確認をしてください。このサイズより大きい場合、スライドの周囲が切れてしまいますので、画面の設定を XGA に必ず合わせて下さい。
2. 外部画像出力コネクタが D-sub15 ピン（ミニ）であることを確認してください。違う場合は変換用のアダプタをご用意下さい。
3. ノートパソコンのスクリーンセーバーならびに省電力設定は事前に解除しておいてください。
4. 発表会場のモニター切り替え器には 4 本の D-sub15 ピン（ミニ）のケーブルが接続されており、A, B, C, D の記号が付いています。会場の次講演者席、次次講演者席には記号の付いたケーブルが来ますので記号を確認の上、接続してください。
5. 会場にて電源を用意していますので、電源コードを必ずお持ちください。バッテリートラブルが生じないように次講演者席、次次講演者席近辺に電源タップを用意しておきますので、必ずご利用下さい。電源タップと演台の間は一般的なノートパソコンの電源コードで間に合うようにいたします。
6. 次講演者席、次次講演者席に着いてケーブルを接続したらノートパソコンを起動させてください。ただし、起動音は周りの迷惑になりますのであらかじめミュート（消音）にしておいてください。
7. 画像出力先を外部またはミラーリングに設定しておいてもケーブルが接続されていないと液晶モニターのみ自動的に切り替わってしまう機種があります。その場合にもあわてずに素早く対処できるように、ファンクションキー等を用いた出力先の切り替え法もご確認下さい。
8. 係員が演壇においてコンピュータに接続したケーブル端子の A, B, C, D の記号に合わせてモニター切り替え器のスイッチを切り替えます。接続端子には A, B, C, D の記号が付いておりますので係員に見えるようにしてください。切り替えがうまくいかなかった場合はコンピュータの画面出力先を確認してください。なお、トラブルの時間も講演時間にふくまれますのでご注意ください。
9. 動画を用いられる場合、Windows XP に関して、出力先をミラーリングに設定してあると動画は液晶画面には映りますがプロジェクタから投影されないことがあります。その際は、出力先を外部のみに切り替えてください。
10. プレビューコーナー（第一講義棟 12, 22 号講義室、第二講義棟 12 号講義室の計 3 室）には大会期間中常時専門スタッフがおりますので、上記の設定等について不明の点はお尋ね下さい。
11. そのほか、トラブル時に必ず非常用の OHP シートも用意して下さい。

その他、ご不明の点は東京農工大学育種学会運営委員会(iku109@cc.tuat.ac.jp)にお問い合わせください。